

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 4 子どもが健やかに育つまちに
 重点的取組 2 確かな学力を身につけ、社会をたくましく生きる子どもを育てる

担当課名	教育部 教育総務課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

事業名	教育一般事務事業	事業開始年度	平成 24 年度
	学校の規模適正化の推進、佐伯高等学校活性化支援	根拠法令 条例 個別計画等	学校教育法施行規則 廿日市市教育振興計画 今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画（県教委）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	<ul style="list-style-type: none"> 閉校となった学校に通学していた児童 閉校となった学校施設を利用する市民 佐伯高等学校及び地元中学生 	<ul style="list-style-type: none"> 統合によって4月から新たな学校に遠距離通学する児童が安全に登下校するため、一定期間通学支援員を配置する。 閉校となった学校施設を地域活動等に継続して利用できるように、安全性の観点から、校舎を封鎖し遊具を撤去する。 地元の中学生の進路選択の幅を狭めないように佐伯高校の存続及び活性化を図るため、必要な支援を行う。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
<ul style="list-style-type: none"> 市 佐伯高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な通学のための通学支援員配置 学校跡地の暫定的な維持管理 佐伯高等学校活性化地域協議会への参画 	P T A、地元住民、 佐伯高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動 跡地利用に係る協議 校内での活性化策の検討・推進

3 平成 27 年度 予算 (事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	◎事業概要		
	<ul style="list-style-type: none"> 津田地区に、登下校の時間に合わせて一定期間通学支援員を配置する。 閉校となった学校施設を地域活動等に継続して利用できるように、安全性の観点から、校舎を封鎖し遊具を撤去する。 佐伯高校ホームページへの技術的支援及び県外からの意欲をもった生徒の受け入れ支援を行う。 		
	【歳入】		
	県補助金（小中学校教育環境充実支援事業補助金） 補助率 1 / 2 遊具撤去費補助：618千円		
	【歳出】		
	遠距離通学に伴う交通安全支援員配置		H 2 7
	職員賃金等	通学支援員賃金等（4月・5月分）	115
	旧学校施設の遊具撤去等		
	消耗品費	体育館に移設するAEDパッド交換（玖島・浅原）	70
	工事請負費	旧学校施設の遊具撤去、校舎閉鎖柵設置	1,380
広島県立佐伯高等学校の活性化に係る支援			
団体補助金	佐伯高等学校生徒下宿費補助	480	
	佐伯高等学校ホームページ更新補助	500	

コスト情報(円)	項目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算
	財源内訳	直接事業費 A			2,657,000
内訳		国庫支出金			
		県支出金		250,000	618,000
		借入金(市債)			
		その他(使用料など)			
	市(市税など)		2,407,000	1,929,000	
	人件費(按分) B	人	2.50 人	0.20 人	
			21,277,500	1,729,800	
	総事業費(A+B)		23,934,500	4,276,800	
単位 ト換算 コスト	①	人口(4月1日現在)	117,680 人	117,680 人	117,182 人
	②	市民1人当たり		203	36

到達目標	活動及び成果指標	単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動					
成果	佐伯高校新年度入学生徒数	人	34	27	27	入学定員の2/3
	統合に係る児童・保護者の満足度	%	-	-	100	アンケート調査